実施日 平成 30 年 10 月 15 日 (17:45 ~19:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー	
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

該当なし

前回の改善計画に対する取組み結果

該当なし

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	本人の情報やニーズについて、利用開始前 にミーティング等を通じて共有しています か?	0人	9人	3人	0人	12人
2	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、 まず必要としている支援ができています か?	0人	9人	3人	0人	1 2人
3	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3人	8人	1人	0人	12人
4	本人を支えるために、家族・介護者の不安 を受け止め、関係づくりのための配慮をし ていますか?	0人	8人	4人	0人	12人

できている点

- ・連絡ノートや情報シート、ミーティングを通して情報収集を行っている。またノートやシートを活用する ことで職員間で情報の共有、周知を行っている。
- ・ご本人様、ご家族様との日頃の挨拶や会話等の中から希望や必要とされていることの情報が得られるよう に心掛けている
- ・利用開始前に、以前の生活の様子やADL情報などの情報を申し送りや話し合いを実施している。

できていない点

- ・ご本人様やご家族様の不安や困っていることをきちんと受容することが不十分。
- ・不安や困っていることなど、普段の関わりの中から引き出すことが不十分。

- ・面会時など、ご家族様等への挨拶だけではなく最近の様子を伝えたり、コミュニケーションをしっかりと 図っていくことで、自然体でご本人様・ご家族様の不安や困っていることなどへの気づきが得られるよう にしていく。
- ・事前のカンファレンスに介護職員も出席し、ご家族様との関わりを深め、情報収集へ繋げる。
- 事前情報収集をしつかりと行う為にも、介護支援専門員の関わりがしつかりと行えるように業務に当たる。

実施日 平成 30年10月15日 (17:45 ~19:30)

2.「~したい」の実現(自己実現の尊重)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

*	今回該当なし	
Z•X	プロ豚ヨなし	_

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

※ 今回該当なし

前回の改善計画に対する取組み結果

※ 今回該当なし

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0人	4人	7人	1人	12人
2	本人の当面の目標「~したい」がわかっていますか?	0人	4人	6人	2人	12人
3	本人の当面の目標「~したい」を目指した 日々のかかわりができていますか?	0人	1人	10人	1人	12人
4	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか?	1人	5人	6人	0人	12人

できている点

- ・関わりから見えたこと、感じたこと、新たな発見(気づき)など、チームで話し合ったり考えたりすることで、職員がどうあるべきか、考え実践に移せることができるようになってきた。
- ・ご本人様が普段言われる想いや希望(外食や買い物など)を個別支援として実行することができている。

できていない点

- ・自分で希望や想いを伝える、言える方の支援はできていたが、想いやしたいことなど自分で言えない方の 支援は聞き出す、また引き出すことができず支援に活かせていなかった。
- ・利用者様の方やご家族様の意向をしっかりと理解、把握でできておらず、関われていないこともあった。
- ・関わり方が全体的に一緒になってしまう所があり、個別性を引き出せていない所があった。
- ・職員が良かれと思って行っていることも、利用者様との間にズレが生じてることもあった。

- ・ケアカンファレンスを通してよりご本人様、ご家族の意向やニーズ、目標とすることを事業所全体で共有 し、具体的に日頃の支援や関わり方を考え取り組みに活かせるようにしていく。
- ・記録物を活用し、職員、職員間での取り組みの在り方や視点は適切か再度振り返りを行い修正していく。

実施日 平成 30年 10月 15日 (17:45 ~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況 ※ 今回該当なし

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

※ 今回該当なし

前回の改善計画に対する取組み結果

※ 今回該当なし

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)		
1)	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0人	0人	9人	3人	12人		
2	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ 等の基礎的な介護ができていますか?	2人	9人	1人	0人	12人		
3	ミーティングにおいて、本人の声にならな い声をチームで言語化できていますか?	1人	2人	8人	1人	12人		
4	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0人	11人	1人	0人	12人		
(5)	共有された本人の気持ちや体調の変化に即 時的に支援できていますか?	0人	1 1人	1人	0人	1 2人		

できている点

- ・生活や関わりの中で、行動や表情等にいつもと違うことや変化がみられた時など、出勤職員へ報告、相談 し、記録を通してその他の職員へも周知するようにしている。また、体調に変化がみられる時は、看護師 へ相談、報告し早期対応できるように連携をしている。
- ・食事、排泄、入浴などご本人様の状況、状態に合わせて対応をしており、個別的に支援できている。

できていない点

- ・自宅での生活環境の理解と、そこでの介助の在り方については、レベルアップが必要。
- ・事前情報で以前どのような暮らしをしていたのかを書面での情報は理解しているも、関わりを通しての情報収集が不十分な為、具体的に細かくは理解できていない。

- ・ご本人様、ご家族様とのコミュニケーションや関わりの充実化を図れるようにしていく為にも、日常の気づきを大切にし、生活の各場面での関わりを大切にしていく。関わる際に、その中でご本人様やご家族様が何を思い感じているのか等支援を考え実践できるように努める。
- ・日常のミーティングや申し送りの時に、小さな気づきや変化などの報告や相談ができるシステム・雰囲気 を作る。

4. 地域での暮らしの支援

実施日	平成 30年 10月 15日 (17:45 ~19:30)
メンハ゛ー	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

※ 今回該当なし

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

※ 今回該当なし

前回の改善計画に対する取組み結果

※ 今回該当なし

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係 等を理解していますか?	0人	5人	5人	2人	1 2人
2	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0人	10人	2人	0人	1 2人
3	事業所が直接接していない時間に、本人が どのように過ごしているか把握しています か?	1人	4人	6人	1人	1 2人
4	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域 の資源等を把握していますか?	0人	2人	4人	6人	1 2人

できている点

・ご自宅に訪問で伺った時やご家族が面会に来られた時に、以前の生活やご自宅でのについて話を伺ったり 最近の施設サービス利用時の様子や気づきなどを伝え、ご家族様との情報の共有を図れるようにしている。

できていない点

- ・地域資源と考えた時に、どういったものが資源なのか、どう活用していけばよいか理解が不十分であり、 実際に活用できていないと感じている。
- ・ご本人が暮らしてきた地域の中で、近隣住民の方とどのような関係にあり、どう生活してきたのか等、情報収集が不十分な為把握できていない。

- ・近隣や生活を取り巻く環境の中にどのような資源があるのかを事業所職員全員で把握に努め、実際に現 生活環境の中で、どうのように活用していけるかミーティングで話し合っていく。
- ・地域の行事等に参加させて頂くことで、よりご利用者様の日常生活に近い場面でタンポポの役割が果たせるようにしていきたい。

実施日 平成 30年10月15日 (17:45 ~19:30)

メンバー

5. 多機能性ある柔軟な支援

◆前回の改善計画に対する取組み状況 ※ 今回該当なし

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

※ 今回該当なし

前回の改善計画に対する取組み結果

※ 今回該当なし

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	自分たち事業所だけで支えようとせず、地 域の資源を使って支援していますか?	0人	3人	6人	3人	1 2人
2	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が 妥当適切に提供されていますか?	2人	9人	1人	0人	1 2人
3	日々のかかわりや記録から本人の「変化」 に気づき、ミーティング等で共有すること ができていますか?	1人	8人	2人	1人	12人
4	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	9人	2人	0人	1 2人

できている点

- ・ミーティングや話し合いの場だけではなく、日常の業務や支援の中で感じた、気づいた変化はその都度、 職員に報告、相談し話し合うようにし支援に活かしている。
- ・随時訪問や急な宿泊でもその都度行っており、柔軟に支援できている。
- ・本人の変化は、その都度申し送る他、記録としても残し職員全員での把握、共有に努めている。

できていない点

- ・地域資源の活用という観点よりも事業所内でなんとかしようとしてしまう為、地域資源に何があるのかと 考えずに、中々活用に繋げられていない。
- ・「良い変化」ここができるようになった、変わった等より、「悪い変化」に目が行きがちなところがあり、 良い変化に気づけていない所がある。

- ・近隣施設の行事やボランティア、外出など、関わる職員がそういう物も地域資源を活用しているという意識をきちんと持ち、資源活用の幅を広げ支援に活かせるようにしていく。
- ・訪問において、より随時訪問や支援内容を柔軟にしていく為にも職員体制の強化を図っていく。

実施日

平成 30年10月15日 (17:45 ~19:30)

6. 連携·協働

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況 ※ 今回該当なし

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

※ 今回該当なし

前回の改善計画に対する取組み結果

※ 今回該当なし

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1)	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0人	5人	5人	2人	12人
2	自治体や地域包括支援センターとの会議に 参加していますか?	0人	2人	3人	7人	12人
3	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、 婦人会、消防団等)の活動やイベントに参 加していますか?	0人	3人	3人	6人	1 2人
4	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民 が事業所を訪れますか?	0人	6人	4人	2人	1 2人

できている点

- ・訪問看護や福祉用具、その他関わる機関との情報の共有や相談をその都度行い、連携を図り支援に取り入れられるようにしている。
- ・地区の清掃活動に参加したり、保育園の子供達が訪問してくれたりと交流する機会が増えてきている。

できていない点

- ・自治体や地域包括支援センターとの会議などへの参加については、機会が分からず参加していないという 意見もあった。
- ・他のサービス機関の方々に相談や報告などは行えているも会議などに参加することが現場単位ではできいない。介護支援専門員などが中心に出席している。

- ・カンファレンスなどへ介護支援専門員だけではなく、現場の介護職員も参加し各関係機関との連携や情報の共有をより強化できるようにしていく。
- ・区の行事やイベントの参加において、現場職員も参加していき、事業所全体として取り組んでいく。
- ・事業所のアピールをもっとしてく為に、一般の方対象のサロンや行事など、気軽に訪れることができ、 招き入れる機会を増やしていけるように取り組んでいく。

実施日 平成 30年10月15日 (17:45 ~19:30)

メンハ゛ー

7. 運営

◆前回の改善計画に対する取組み状況 ※ 今回該当なし

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

※ 今回該当なし

前回の改善計画に対する取組み結果

※ 今回該当なし

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1)	事業所のあり方について、職員として意見 を言うことができていますか?	1人	8人	3人	0人	1 2人
2	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を 運営に反映していますか?	1人	9人	2人	0人	1 2人
3	地域の方からの意見や苦情を運営に反映し ていますか?	0人	6人	4人	2人	1 2人
4	地域に必要とされる拠点であるために、積 極的に地域と協働した取組みを行っていま すか?	0人	2人	8人	2人	1 2人

できている点

・ご利用者やご家族からの意見や想いなどは、職員間や事業所としてどう対応するべきか等話し合い、支援 や業務に活かせるように取り組んでいる。また、ご利用者様・ご家族様からのご意見・ご要望等あった場 合には、早期に対応できるよう取り組んでいる。

できていない点

- ・事業所の在り方については理解できているが、実際に支援や業務、地域の方との関わりと考えた時に方法 が浮かばず、話しを聞くだけになってしまうことが多い。
- ・地域活動や交流する場に参加する機会をうまく活用できていない為、意見や想いを取り組みとして行えていない。

- ・区や近隣の方と交流できる場を活用し、関わる機会を増やしていく。
- ・全体での勉強会だけではなく、もっと広い視点で学べるように自己学習をする、出来るように職員間での 声掛けや呼びかけをし、自己学習の充実化を図れるようにしていく。

実施日 平成 30年10月15日 (17:45 ~19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況 ※ 今回該当なし

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

※ 今回該当なし

前回の改善計画に対する取組み結果

※ 今回該当なし

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	研修(職場内・職場外)を実施・参加して いますか	0人	5人	6人	1人	1 2人
2	資格取得やスキルアップのための研修に参 加できていますか	0人	4人	5人	3人	1 2人
3	地域連絡会に参加していますか	0人	1人	2人	9人	1 2人
4	リスクマネジメントに取組んでいますか	0人	9人	1人	2人	1 2人

できている点

- ・法人内研修や事業所で行う研修に参加しスキルアップ出来るように有効に活用している。
- ・リスクマネジメントとして、日常で危険と考えられること、どのようにしたら安全に行えるかなどを考えたり、事故が起きた時は対策や対策の継続方法を考え支援にあたるようにしている。
- ・資格取得へ向け、日頃のケアや学習を大切にしている。

できていない点

- ・研修に参加してきても、研修で学んだことを支援に繋げるということに対して課題がある。
- ・地域連絡会がいつあるのか等分からず参加できていないという意見もあった。

- ・スキルアップの研修や連絡会など、スタッフ一人一人が日程や要綱を調べ自発的に参加するようなシステムと雰囲気を作っていく。
- ・事業所としても、研修に参加しやすい体制整備や連絡などをより整備していく。

実施日 平成 30年10月15日 (17:45 ~19:30)

メンバー

9. 人権・プライバシー

◆前回の改善計画に対する取組み状況 ※ 今回該当なし

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

※ 今回該当なし

前回の改善計画に対する取組み結果

※ 今回該当なし

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	身体拘束をしていない	9人	3人	0人	0人	12人
2	虐待は行われていない	11人	1人	0人	0人	12人
3	プライバシーが守られている	2人	9人	1人	0人	12人
4	必要な方に成年後見制度を活用している	9人	2人	0人	1人	12人
(5)	適正な個人情報の管理ができている	8人	3人	1人	0人	12人

できている点

- ・身体拘束は一切行っておらず、行動だけではなく言葉掛けにおいても、本人の行動や想いを抑制しないように配慮している。また、どう対応していいか悩んでしまう場合は、支援にあたる前に職員間で話し合うようにしている。
- ・マンツーマン入浴や個別での排泄支援など、プライバシーや本人の羞恥心への配慮が行えている。

できていない点

- ・時間や業務内で、自分に行動や気持ちにゆとりが持てなくなると「待ってて下さい」と本人の行動を止めてしまうことがある。
- ・成年後見人制度の理解が不十分で、誰がその制度を利用しているのか、どのような制度なのか理解できていない。

- ・成年後見人制度の勉強会を開催し、制度についての理解を含める。
- ・日頃の関わり方、声掛けの仕方などを定期的に見直していけるように月のミーティングの在り方を検討 していく。